

★定時上映 1月21日(土)～4月16日(日)

星空解説「今夜、なにがみえるかな」2022 冬

冬は早い時間に空が暗くなり、生活の中で星空が身近に感じられます。空が暗くなった頃、冬の星々が輝き出します。一等星とともに、今年は惑星もいくつか見えてきます。天頂近くに赤く輝く「火星」。西の空には「木星」。そして「金星」も夕方の空に見えるようになってきます。そんな冬の夜空に見える星々を紹介します。

テーマ番組
「^{とら}美しき星々～宇宙望遠鏡が捉えた宇宙～」

観測機器の発達は、目では見えない宇宙の姿を明らかにしてきました。ハッブル宇宙望遠鏡は宇宙の様々な天体を撮影してきました。打ち上げから30年以上が経ち、撮影は100万回をこえます。今回は、その美しい星雲や銀河の世界をお楽しみください。

☆土日祝日の上映時刻	テーマ番組 10:00～/13:00～/15:00～ 星空解説 11:00～/14:00～/16:00～ テーマ番組、星空解説ともに約20分間
------------	-------------------------------------------------------------------------------

☆平日のみ団体上映を受付。(2日前までに要予約。ただし、休館日を除く)
・定員：各回先着50名(上映1時間前から発券)
・費用：高校生以上100円(中学生以下無料)
※新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、マスク着用・手指の消毒・連絡先の記入などにご協力を頂いております。

★春休み特別上映

3月27日(月)～4月4日(火)の平日 ※水曜定休
春休みは、平日も2回上映いたします。
(14:00～星空解説、15:00～テーマ番組)

★CD 星空コンサート

「SF 映画音楽特集」

日時：3月18日(土) ①13:00～ ②15:00～

解説 駒井仁南子
※開演1時間前から発券
費用300円/定員先着50名/当日の定期上映はなし

★星空たんけん観望会 星空の見方を学ぶ講座と星空観望会

「冬の星空とオリオン大星雲・すばるを観察しよう！」

日時：2月11日(土・祝)
17:45～19:30(受付開始17:30)

費用100円(中学生以下無料)
持物 懐中電灯(赤色灯推奨)
定員50名(小学生以下保護者同伴)
申込み 2/2～2/10までに水の館



手賀沼周辺のイベント情報

◆環境レンジャーネイチャーイン

「手賀沼船上冬鳥観察会」

たくさんの水鳥が集まる手賀沼の冬は野鳥観察のベストシーズンです。船上からの探鳥では陸からの探鳥と全く違った景色が満喫できます。

日時：1月29日(日) 午前10時～11時 ※雨天・強風中止
集合：午前9時30分 手賀沼公園内「ポートセンター小池」前
対象：どなたでも(小学生以下は保護者同伴)
定員：先着申込30人
費用：無料
申込方法：1月17日(火)～1月26日(木)までに住所・氏名・年齢・電話番号をご連絡ください。

◆環境工作

「紙飛行機工作と飛行大会」

大人気の紙飛行機工作と飛行大会! 「スーと飛ぶ飛行機」「ふわふわ飛行機」「曲技飛行機」など6種類の飛行機を作り、一緒に飛ばします。

日時：2月18日(土) 午後1時30分～3時30分
場所：アピスタホール
定員：先着申込20人 ※小学生以下は保護者同伴
費用：50円(保険料)
持物：ハサミ
申込方法：2月2日(木)～2月16日(木)までに住所・氏名・年齢・電話番号をご連絡ください。

◆クリーン手賀沼推進協議会

「遊覧船で手賀沼について学ぼう！」

我孫子市のシンボルである手賀沼を遊覧船から眺めてみませんか? 手賀沼の歴史と現状、手賀沼で見られる生き物についてガイドいたします。
日時：3月25日(土) 午前10時30分～11時30分/午後1時30分～2時30分
受付は各回15分前～ ※雨天・強風の場合は中止

場所：手賀沼公園内ポート乗り場「ポートセンター小池」前集合
対象：どなたでも(小学生以下は保護者同伴)
定員：各回30名(要申込)
費用：無料
申込方法：3月17日(金)～23日(木)までに住所・氏名・年齢・電話番号をご連絡ください。(家族、グループの場合は代表者の住所と電話番号、全員分の氏名と年齢が必要です)

「第12回手賀沼親子釣り大会」

より多くの市民に手賀沼と身近にふれあい親しんでもらうため、手賀沼親子釣り大会を開催します。

日時：3月11日(土) 8:30集合 12:00終了予定 ※雨天中止
場所：未定
対象：市内在住の小学生と親のペア(2人1組)
定員：申込先着 未定
費用：1組500円(釣堀使用料、保険料)
釣り道具：貸出(※持参不可)
申込方法：2月17日(金)～3月8日(水)までに、住所・氏名・年齢・電話番号をご連絡ください。



※手賀沼周辺のイベントへのお問い合わせは
手賀沼課 TEL 04-7185-1484 へ



我孫子市マスコットキャラクター
手賀沼のうなきちゃん

利根川ゆうゆう公園での月食

2022年11月8日の月食の様子うな。5分ごとに撮影した写真を合成して、月のかけ方、色の変化を分かりやすくしたうな。

星座の物語 冬に見られる黄道12星座

星占いでよく使われる12個の星座は黄道12星座と呼ばれています。黄道とは空を太陽が通る道のこと。この方向にある星座は特に重要であると考えられていました。季節ごとに見やすい星座は移っていきます。冬に見えやすい、3つの星座を紹介しましょう。



おうし座
ギリシャ神話にてでくる大神ゼウスの化身と言われています。おうし座の肩の所で淡く光る星の集団はプレアデス散開星団。和名では「すばる」と呼ばれています。いくつの星が見えるかで目の良さを調べたという話が世界各国に残っています。今年の冬は、このおうし座のそばで火星が明るく輝いています。

ふたご座
ギリシャ神話では仲の良いカストルとポルックスという双子の少年を星座にしたものとして語られています。二人はともに勇敢でアルゴ船という船に乗って様々な冒険をしています。弟(ポルックス)の星が1等星。兄(カストル)の星が2等星と少し控えめに輝いています。12月中旬に見られるふたご座流星群としても有名です。

かに座
ふたご座としし座の間にあります。ギリシャ神話ではししの友達(仲間)として描かれたりしています。甲羅の部分にはプレセペ散開星団という、星の集まりがあります。双眼鏡で見ることができます。

2022年度 冬の天文イベント

1/22 月が2023年中、最接近

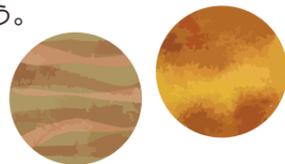
地球と月との距離は、軌道により常に近づいたり遠ざかったりしています。近年、スーパームーンという現象を聞くことがありますが、それはその年に起こる満月の中で、地球に最も近づいたときに起こる満月を言います。満月に限定しないで月を観測すると、2023年の最接近はこの日。地球と月の距離は35万6569kmになります。(平均は38万4400km)

2/15 金星と海王星が大接近

海王星は肉眼で見つけることは難しく、夜空のどこにあるのかをあまり意識することはありません。2月15日の夕方から夜にかけて、とても明るく輝く金星に大接近します。実際に見つけることは難しい天体も、そこに輝いているのだと意識すると星空の楽しみが広がります。この日の金星のすぐそばに海王星も輝いています。

3/2 金星と木星が接近

夜空でもひときわ明るい惑星である金星と木星がとても近づくのを見ることができます。5円玉を手にして腕を伸ばして穴を見ると、二つの惑星が入るくらいまで近づきます。夕方、西の空で見応えのある風景となることでしょう。

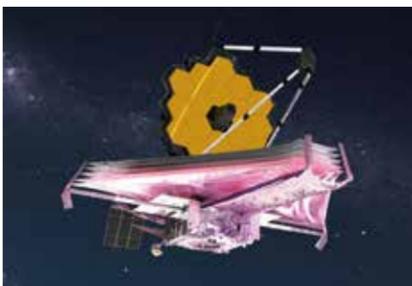


星空ギャラリー

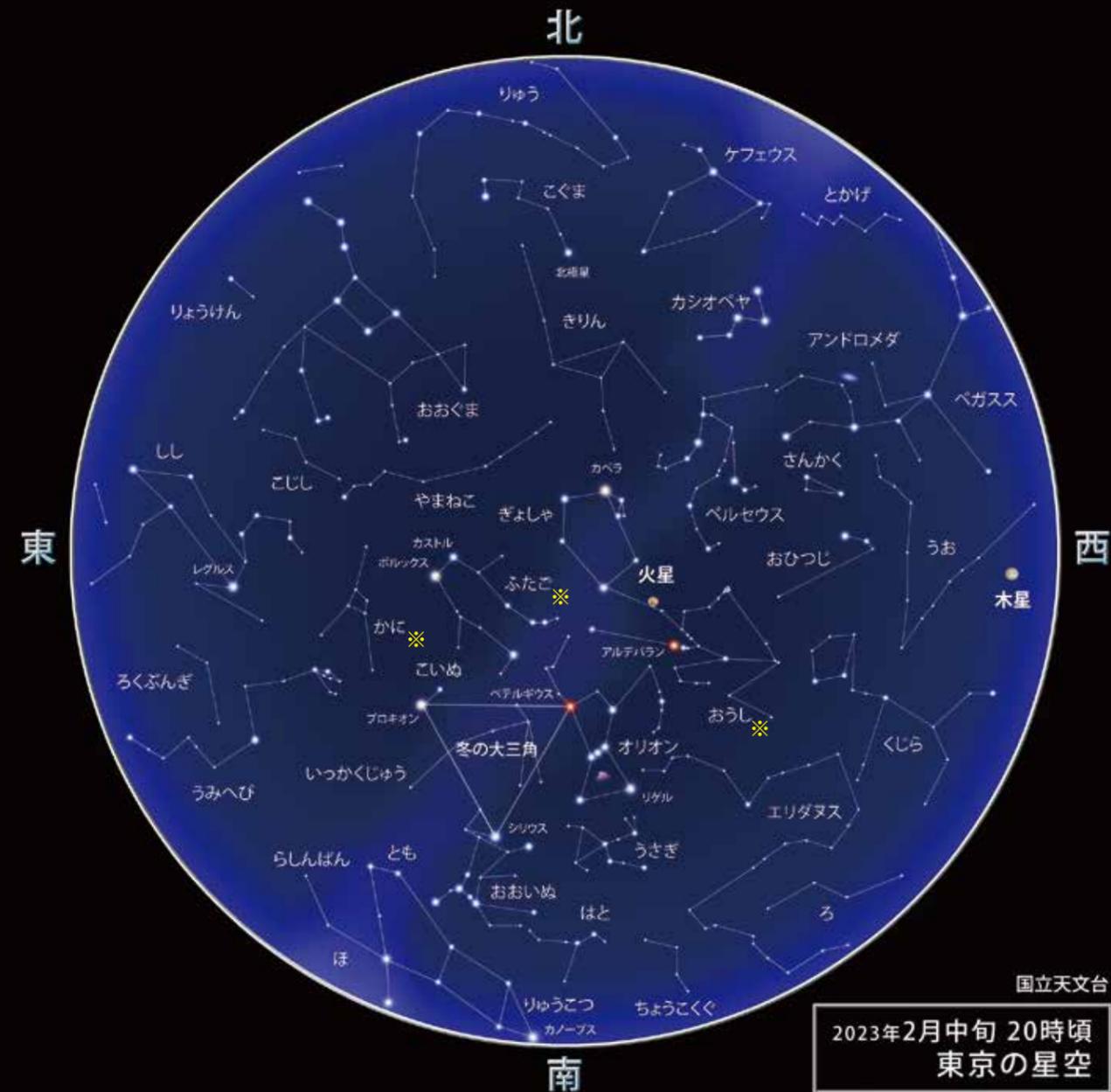
美しい星雲や星団の写真を目にしたことがあるかと思いますが。その多くはハッブル宇宙望遠鏡で撮影されました。そして今年からハッブル宇宙望遠鏡の性能を大きく超えるジェームズ・ウェッブ宇宙望遠鏡が観測を開始しています。30年にわたって活躍してきたハッブル宇宙望遠鏡と最新のジェームズ・ウェッブ宇宙望遠鏡を紹介します。



ハッブル宇宙望遠鏡



ジェームズ・ウェッブ望遠鏡



星空紹介コーナーの星座は※マークが付いています。

国立天文台
2023年2月中旬 20時頃
東京の星空

天文ニュース

SLS ロケットの打ち上げ

2022年11月16日。SLS(スペースローンチシステム)ロケットの打ち上げに成功しました。SLS ロケットはオリオン宇宙船を搭載し、宇宙船は月へと向かいました。人類が月面着陸を再び目指し、そして最終的には人類を火星に送るというアルテミス計画を支えるロケット打ち上げの成功となりました。



©NASA

星空ミニクイズ

30年にわたって数多くの天体を撮影してきたハッブル宇宙望遠鏡。その名前の由来は何でしょう?



- ①天文学者の名前
- ②ロケットが打ち上げられた場所の地名
- ③星の名前



スペースシャトル ディスカバリー号から見たハッブル宇宙望遠鏡

答えは水の館3階、プラネタリウム前のスタンプコーナーで説明しています。

2022年度冬のスタンプ

スタンプはプラネタリウムの前にあるよ